

広報資料

【新規事項】

- ・ 巡視艇いせゆき潜水士の訓練を公開します
(警備救難部・救難課)
- ・ 海保の新しいリクルート活動
リモート就職ガイダンスを実施します
(リクルートセンター)

【お知らせ】

- ・ 釣り中の事故昨年比倍増（愛知県、三重県）
～新型コロナウイルス感染拡大後、釣り事故が大幅に増加～
(交通部・安全対策課)

【ミニ講座】

- ・ 海底地殻変動観測
～南海トラフ巨大地震の解明を目指して～
(海洋情報部)

広報資料

【新規事項】

- ・ 巡視艇いせゆき潜水士の訓練を公開します
(警備救難部・救難課)
- ・ 海保の新しいリクルート活動
リモート就職ガイダンスを実施します
(リクルートセンター)

【お知らせ】

- ・ 釣り中の事故昨年比倍増（愛知県、三重県）
～新型コロナウイルス感染拡大後、釣り事故が大幅に増加～
(交通部・安全対策課)

【ミニ講座】

- ・ 海底地殻変動観測
～南海トラフ巨大地震の解明を目指して～
(海洋情報部)

【問い合わせ先】

- 第四管区海上保安本部 警備救難部
救難課長 柴田 理香 (Tel 052-661-1611 内線 3250)



令和 2 年 9 月 2 5 日
第四管区海上保安本部

巡視艇いせゆき潜水士の訓練を公開します

潜水士は、船舶の転覆や沈没海難における人命救助などに対応する海難救助のスペシャリストであり、潜水技術の維持、向上のため、一般の海上保安官と異なる専門的な訓練を日夜実施しています。

この度、以下のとおり潜水訓練を公開します。

※海上保安庁では、昭和 45 年 6 月から潜水業務の本格的な運用を開始し、本年 6 月で運用開始 50 周年となりました。

1 日時

令和 2 年 10 月 15 日 (木) 午前 9 時から午前 11 時 30 分

2 場所

愛知県常滑市セントレア 4 丁目地先 巡視艇いせゆき定係地

3 訓練実施船

中部空港海上保安航空基地 巡視艇いせゆき

4 訓練内容

装備を付けての海面移動、素潜り、潜水サーキット (ロープ登はん、錘運搬等)

訓練イメージ



装備を付けての海面移動



素潜り



潜水サーキット
(ロープ登はん)

5 取材の申し込みについて

(1) 申込方法

別添の取材申込書により、メールまたはFAXでお申し込みください。

(2) 締め切り

令和2年10月12日(月)午後3時

(3) 集合日時

令和2年10月15日(木)午前8時50分

(4) 集合場所

愛知県常滑市セントレア4丁目地先 巡視艇いせゆき定係地

(5) その他

ア 事件事故や荒天等により、訓練内容の変更または訓練を中止する場合があります。(訓練を中止する場合は連絡します。)

イ 当日、潜水士へのインタビューを希望される場合は、別添取材申込書に記入をお願いします。

《集合場所》



※ 高速船乗り場付近は、道路幅も狭く、人の往来もあるので、車の運転には注意して下さい。

巡視艇いせゆき潜水訓練 取材申込書

御 社 名 _____

連 絡 先 _____

注) 訓練中止等をお知らせする場合の連絡先を記載してください。

代表者氏名 _____

同行者氏名 _____

注) 同行者全員の氏名を記入してください。

潜水士へのインタビュー希望の有無

注) どちらかに○印を付けてください。

有 　　り 　　　　　 無 　　し

申込書送付先

第四管区海上保安本部警備救難部救難課

F A X : 0 5 2 - 6 6 1 - 1 6 2 0

メール : jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp

メールでお申込の場合は上記項目を漏れなく記載してください。



巡視艇いせゆき（105トン 平成30年10月就役）



巡視艇いせゆき潜水士

【問い合わせ先】

海上保安官リクルートセンター

学生募集チームリーダー

吉田 隆宏

電話 052-652-0826 (内線 2130)



令和 2 年 9 月 2 5 日

第四管区海上保安本部

海保の新しいリクルート活動 リモート就職ガイダンスを実施します

コロナ禍の影響により、海上保安庁においても従来通り対面形式によるリクルート活動が制限される状況にあります。そのような状況を打開するため、「新しいリクルート活動」として WEB 会議機能を使用した「リモート就職ガイダンス」(対象者=18 歳以上 30 歳未満)を実施します。

1 リモート就職ガイダンスとは

○セミナー形式 (最大 50 名)

多人数を対象としたセミナー形式による説明会

視聴者は顔出しなし、チャットで質問

○テレビ会議形式 (最大 20 名)

少人数を対象としたテレビ会議形式による説明会

視聴者も顔出し、音声での質問

*設定により顔出しなしの対応も可能です

の 2 パターンあり、どちらも第四管区海上保安本部の採用担当が直接説明を行い、学生が気になる学校生活や、配属後の給料等、突っ込んだ質問にもお答えする予定です。

2 今後の活用

○現役潜水士と直接トーク

○船艇基地や船内のモニター越し見学 ...等

3 申し込み方法

①申し込みページから参加したい日程を選択



←「QR コード」申し込みページへのリンク

②最低限のプロフィール情報(氏名・メールアドレス)を入力し、登録したアドレスに届く招待 URL から WEB 会議に参加

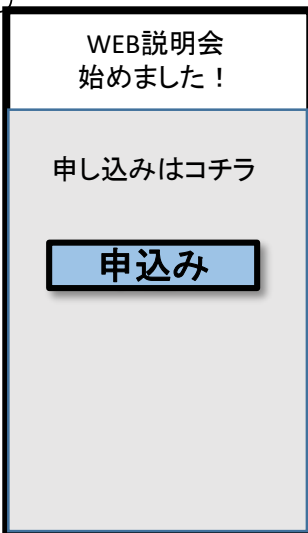
*詳細は、別添「学生募集 WEB 説明会の参加までのイメージ」を参照

WEB説明会への申し込み方法

海上保安官採用サイト 検索



左図の下方にある採用担当Twitterのツイート↓



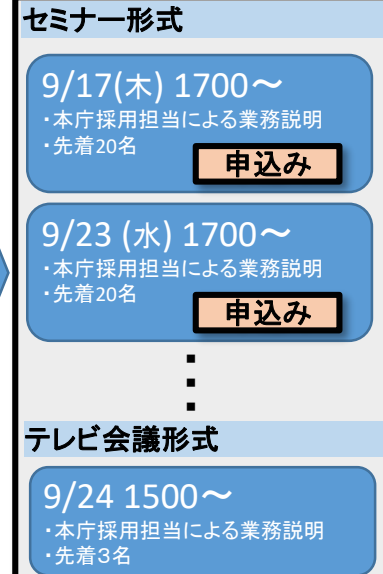
ログイン画面



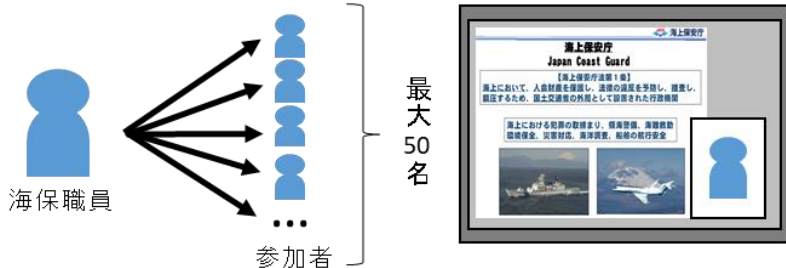
プロフィール入力画面



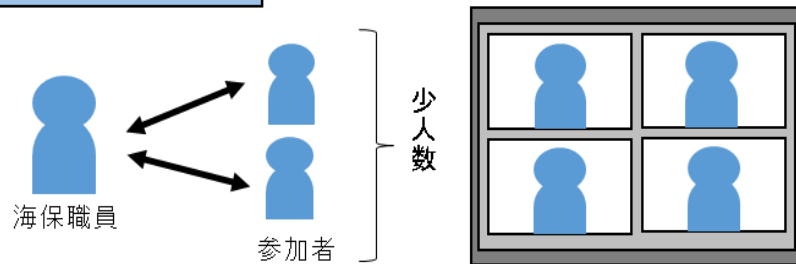
WEB説明会申込画面



セミナー形式 「1:多数」のセミナー形式による説明



テレビ会議形式 「1:少数」のテレビ会議形式による説明



ミーティング5(アプリ必要)

【問い合わせ先】

海上保安庁第四管区海上保安本部
 交通部安全対策課長 留置（トナリ）浩司
 電話 TEL052-661-1611（内線 2640）



令和2年9月17日
 第四管区海上保安本部

釣り中の事故昨年比倍増（愛知県、三重県）

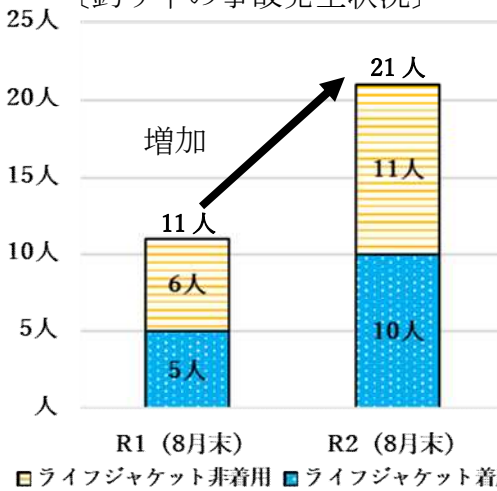
～新型コロナウイルス感染拡大後、釣り事故が大幅に増加～

例年、9月以降は釣り中の事故が増加しており、4連休を前に釣り人に対してライフジャケットの常時着用励行の呼びかけを強化しています。

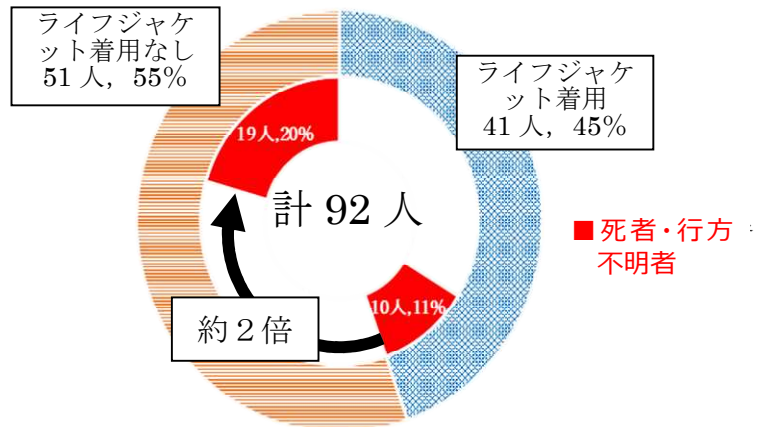
【別添海難防止カード参照】

- 令和2年8月末現在 21人（昨年同時期比10人増【倍増】）
- 釣り中の事故のうち、ライフジャケット非着用者は着用者より死亡率が約2倍
- 釣り中の事故内容は海中転落が最も多く発生

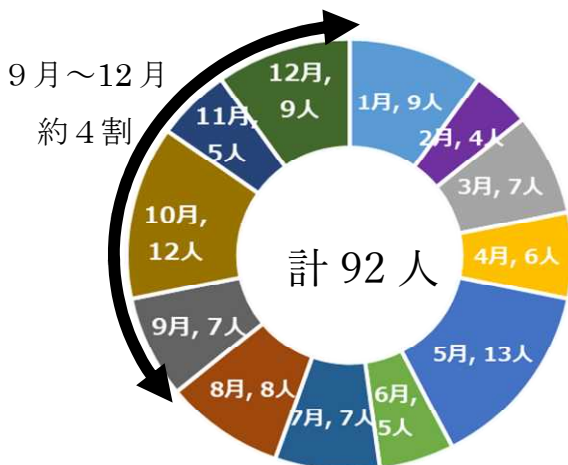
〔釣り中の事故発生状況〕



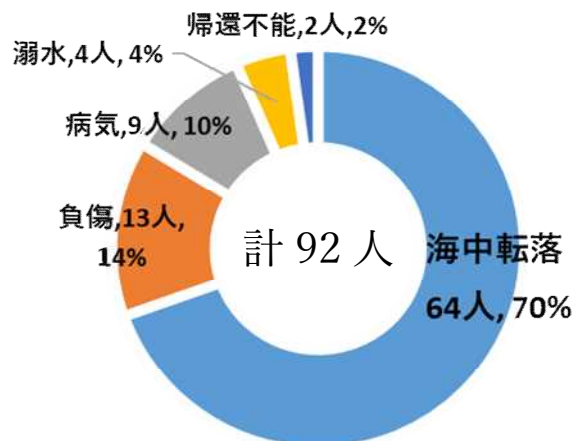
〔ライフジャケット着用者数（過去5年）〕



〔釣り中の事故者数月別（過去5年）〕



〔釣り中の事故内容別（過去5年）〕



釣り中に着けて良かった！ ライフジャケット

釣り中の事故は全国で1日に約1件発生しています。
特にライフジャケットを着用していない事故者のうち
半数は死亡等するという**重大な事故**に発展。

令和元年釣り中の事故者数(全国)

ライフジャケット着用
142人,42%

令和元年
342人

ライフジャケット非着用
200人,58%

死者は？

ライフジャケット非着用時死者等数の割合

約**2倍**

50%

24%

ライフジャケット
着用
142人

ライフジャケット
非着用
200人

死者・行方不明者

生存者

釣り中の事故では**海中転落**が全体の約7割発生しています。

海中転落の原因

○釣りをを行う岸壁や磯場等は滑りやすい

○釣りに傾注し、子供から目を離してしまう

○夜釣りをする場合は足元が見えない

○急な高波にさらわれる

ライフジャケットの有効性：発見されやすい！すぐに浮くことができる！

釣り中に子供(4歳)は父親が目を離した間に足を滑らせ海中転落。子供はライフジャケットを着用しており、**直ぐに浮いた**ため、釣り客数名の協力を得て子供を早急に引き揚げた。命に別状はなかった。

事故者2名は船で釣り中、船が転覆し海中転落。事故者2名はライフジャケットを着用しており、当庁船艇が**直ぐに発見し救助** 命に別状はなかった。

事故者は釣り中に波にさらわれて海中転落(ライフジャケット着用)し**約4時間、海上を漂流**していたところを当庁船艇が救助。命に別状はなかった。



海中転落者の当庁救助状況

GO TO NEXT PAGE

○釣りを安全に楽しむための最低限必要な装備

- ✓ ① ライフジャケット
- ✓ ② 釣り場に応じた履物
- ✓ ③ 通信装備（防水ケース入り携帯電話）



○釣りを安全に楽しむための留意事項

- ✓ ① 立入禁止区域に入らない
- ✓ ② 無理をしない
- ✓ ③ 単独行動をしない
- ✓ ④ 釣行計画を第三者に伝えておく



①立入禁止区域に入らない



②無理をしない



③単独行動をしない



④旅行計画を第三者に伝えておく

という4つのポイントを守り「安全第一」で楽しみましょう。

※ライフジャケットは正しく着用することが重要です。
※ライフジャケットを着用していても、荒天時や危険な場所での釣りは事故のリスクを伴います。「安全」を優先しましょう。

**詳しい釣り中の安全情報は
こちら！**



ウォーターセーフティガイド
(釣り編)

発行：小型船舶の事故防止に係る関係機関連絡会

(事務局：海上保安庁 第四管区海上保安本部)

ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁

海の安全情報
Maritime Information and Communication System